

尿路感染症に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センターと東京都立多摩総合医療センターで、「肋骨脊椎角叩打痛と腎双手診の尿路感染症に対する診断特性を調べる前向き観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、尿路感染症で入院した患者さんでどのような診察所見が診断に有用だったかを明らかにすることです。

この研究のため、2025年3月1日より2026年3月31日までに入院となった方の診療録を用いて後ろ向きにデータ収集を行います。対象となるのは尿路感染症の診断で入院治療が行われた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（症状、血液検査所見、微生物学的検査所見など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の代表者である当院及び東京都立多摩総合医療センターの責任者のもとで、厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年3月

研究責任者

東京医療センター 救急科

駒ヶ嶺 順平

連絡先 03-3411-0111(代表)